

TR3RWマネージャ 活用ガイド ダイジェスト版 Ver 1.00

TR3RWManagerで出来ることのリストを下表に示します。

リスト各項目の詳細な説明については別紙資料「TR3RWマネージャ活用ガイド」を参照ください。

別紙資料内の参照先は下表の「参照先」に記載しています。

また、「TR3RW マネージャ活用ガイド」は当社 WEB サイトからダウンロードすることができます。

[ダウンロード先URL] http://www.takaya.co.jp/product/rfid/hf/hf_list/

No	タイトル	説明	参照先
1	連続インベントリモードでユーザデータを表示する	連続インベントリモードを使用する場合に、UIDに紐づけたテキストデータを、[受信データ一覧]の[ユーザデータ列]に表示させることができます。タグにあらかじめデータを書き込むことが難しい場合などの読み取り評価で便利な機能です。	1.5.1 連続インベントリモードでユーザデータを表示する方法
2	RFタグのシステム領域・ユーザ領域を確認する	RFタグのシステム領域およびユーザ領域に書き込まれた情報の確認方法を説明します。 確認するRFタグの対応規格により操作が異なります。	1.5.3 RFタグのシステム領域・ユーザ領域を確認する方法
3	リーダライタEEPROM設定の保存/復元	リーダライタの EEPROM 設定値をテキストファイルに保存します（バックアップ）。または、テキストファイルに保存された EEPROM 設定値を復元します（リストア）。 本機能により、設定時のミスを防止することができます。	1.5.4 リーダライタEEPROM設定の保存/復元
4	RFタグのユーザ領域にバイナリデータを書き込む	RFタグのユーザ領域にバイナリデータを書き込む方法を説明します。 (初期設定では、テキストデータを書き込む設定となっています。)	1.5.5 RFタグのユーザ領域にバイナリデータを書き込む方法
5	送受信ログをファイルに出力する	TR3RWManagerとリーダライタ間の通信ログをファイル出力する方法を説明します。 ファイルに出力される内容は、TR3RWManagerの[送受信ログ]ページの表示と同じ内容になります。	1.5.6 送受信ログをファイルに出力する方法
6	受信データ一覧にバイナリデータを表示する	受信データ一覧のユーザデータ表示欄へバイナリデータを表示する方法を説明します。 (初期設定では、テキストデータを表示する設定となっています。)	1.5.7 受信データ一覧にバイナリデータを表示する方法

No	タイトル	説明	参照先
7	自動読取モードの受信ログ表示を停止する	自動読取モードで高速にタグデータを読み取る場合、[受信データ一覧]と[送受信ログ]のどちらにもタグデータが表示されます。 このとき、使用する PC の性能によっては画面表示がタグの読み取り速度に追いつかず、読み取りが停止した後もタグデータのカウンタアップとログ表示がしばらく停止しない場合があります。 このような場合に、本設定を変更することで自動読取モードのタグデータを、[送受信ログ]だけ非表示とし、画面表示の負荷を減らすことができます。 (Ver3.50 からの追加機能) [受信データ一覧]には表示されますので、タグデータの確認は可能です。	1.5.8 自動読取モードの受信ログ表示を停止する方法
8	自動読取モード時の読取回数を表示する	自動読取モード時に、1秒間あたりに受信したタグデータの受信回数を画面上に表示することができます。(Ver3.50からの追加機能)	1.5.9 自動読取モード時の読取回数を表示する方法
9	RFタグチップの種別を確認する	RFタグチップの種別を確認する方法について説明します。	2.1 RFタグチップの種別を確認したいとき
10	評価用RFタグにデータを書き込む	評価用RFタグにデータを書き込む方法について説明します。	2.2 評価用RFタグにデータを書き込みたいとき
11	RFタグの交信距離／範囲を確認する	RFタグの交信距離／範囲を確認する方法について説明します。 アンテナに対して RF タグ 1 枚の距離、位置を変えながら読み取りの可否を確認することで、最大交信距離や読み取り可能な範囲を確認することができます。	2.4 RFタグの交信距離／範囲を確認したいとき
12	RFタグのユーザ領域を初期化する	RFタグのユーザ領域に書き込まれた情報の初期化方法を説明します。	2.5 RFタグのユーザ領域を初期化したいとき
13	コマンドの処理時間を確認する	コマンドの処理時間を確認する方法について説明します。	2.6 コマンドの処理時間を確認したいとき
14	自動読み取りモードの処理時間を測定する	自動読み取りモードの処理時間を測定する方法について説明します。	2.7 自動読み取りモードの処理時間を測定したいとき

No	タイトル	説明	参照先
15	複数一括読み取りの処理速度を改善する	複数一括読み取りの処理速度を改善する方法について説明します。 「アンチコリジョンモード」をRFタグの枚数に合わせて適切に設定することで、複数一括読み取りの処理速度を改善できる場合があります。	2.8 複数一括読み取りの処理速度を改善したいとき
16	移動体読み取りを検証する	移動体読み取りを検証する方法について説明します。 RFタグを取り付けた対象物が移動する場合、RFタグがアンテナを通過するときに安定して読み取りができるかをTR3RWManagerを用いて検証します。	2.9 移動体読み取りを検証したいとき
17	コマンド処理の成功率を検証する	コマンド処理の成功率を検証する方法について説明します。 実際の環境ではノイズの影響等によりRFタグのリード/ライトが不安定になる場合があります。 実際の環境で安定稼働できるかを確認するために、コマンド処理の成功率(安定性)を確認します。	2.10 コマンド処理の成功率を検証したいとき
18	アンテナ間の相互干渉について検証する	リーダライタを複数台使用する場合、同時に給電されたアンテナ間において相互干渉が起こる場合があります。 本項では、アンテナ間の相互干渉について検証する方法を説明します。	2.11 アンテナ間の相互干渉について検証したいとき
19	アンテナ間の誘導について検証する	アンテナを複数台設置する場合、アンテナ間において誘導が起こる場合があります。 誘導とは、本来の交信エリア外にある隣接するアンテナ上のRFタグを読み取ってしまう現象のことです。 本項では、アンテナ間の誘導について検証する方法を説明します。	2.12 アンテナ間の誘導について検証したいとき
20	富士通製RFタグと交信する	富士通製RFタグ(MB89R116/MB89R118)との交信方法を説明します。	2.13 富士通製RFタグと交信したいとき
21	FeliCaと交信する	FeliCaとの交信方法を説明します。	2.14 FeliCaと交信したいとき

変更履歴

Ver No	日付	内容
1.00	2019/1/15	新規作成

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部
[URL] <http://www.takaya.co.jp/>
[Mail] rfid@takaya.co.jp
